

平成28年山桜会新年会／65・70歳同窓会報告



新しいことが起こる予感! 驚きの連続! スペシャル新年会

新年会実行委員長

塩見 啓二 (小85・大手前中高28期)

平成28年の新年会が1月24日に無事開催されました。今年の新年会は山桜会100周年記念の一環事業のため特別企画を用意する必要がありました。しかし、例年と同じ予算でスペシャル感を出さなければならず、当初からこの点が一番の課題でした。そこで打ち出したのが驚きの演出です。「新しいことをして驚かせよう」それをそのままスローガンとしました。

まずはオープニングから驚かせる。一般出席者の中にオペラ歌手を紛れ込ませて客席から突然歌い出す。最近話題のフラッシュモブの演出を使い、最後は会長も一緒に歌い出す「驚きの連続」でオープニングを飾りました。さらには会長の歌が意外と上手だったという予想外の驚きまで飛び出しました。



驚きの後は卒業生の西田真由子さんと神戸オペラカンパニーの皆さんとの競演による、大スケールでのオペラ演奏会となりました。敷居が高いオペラもなじみ深い曲と、100周年記念特別料理を味わいながら楽しむ事ができ、追手門学院校歌の四部合唱も大勢のオペラ歌手の歌声で初披露しました。他にも、抽選会や同窓会など盛りだくさんの企画を二時間に詰め込み、引き締まった新年会となりました。



今年の運営方法は、実行委員長主導ではなく一般会員にアドバイザーになって頂き企画運営を行い、実行委員会も極力減らして会員の負担軽減を図りました。例年とは異なる運営方法には賛否両論ありますが、これからの新年会運営への問題提起になったと思います。結果としても各方面から多くの反響があり、大成功とのご意見を多数賜りました。これもひとえに多くの御来賓の皆様や協賛して下さった方々、また会員の皆様の御協力のおかげと感謝しております。

65歳同窓会(小74期・中高17期)

赤坂 正明 (大手前中高17期)

平成22年11月の還暦同窓会から早や5年の歳月が流れました。そして、本年1月、小74期・中高17期合同の65歳同窓会を、山桜会新年会と併設開催という形で行いました。同窓生22名が集いました。懐かしい先生方の姿もありました。とりわけ感激したのは、寒い中、遠く茨城県から恩師赤井(林) 富美恵先生が、ご主人の赤井逸先生と一緒に出席くださりお会いできたことです。卒業以来、初めて会う友など、旧交を温める楽しい集いでした。私たちの先輩でもある70歳同窓会も合わせて開催されました。



65歳同窓会



70歳同窓会

就任のご挨拶



大手前中・高 副校長
野口 勝久

本年度副校長を拝命いたしました野口勝久と申します。よろしくお願いたします。私の任務は木内校長の補佐であると理解しております。今、「豊臣秀長」という本を読んでいます。補佐役の心構えを学ぶためです。作者は山桜会の堺屋太一氏です。私はこの三月まで、大阪府立住吉高校の校長を務め、在任中、堺屋氏と宴席でお話しさせていただく機会がありました。不思議な「縁」を感じております。伝統校追手門学院の更なる発展に微力ではございますが務める所存です。



小学校 教頭
井上 恵二

平成28年度より教頭職を仰せつかりました井上恵二と申します。この伝統ある追手門学院小学校での大役に身の引き締まる思いです。勤続28年目を迎え、この間10の期生、のべ約1500人の卒業生を送り出しました。忘れられないたくさんの良き思い出がございます。山桜会は今年創設100周年という記念すべき年を迎えられます。心よりのお祝いと共に、微力ながら貴会と小学校が一層強い絆となりますよう努力する所存でございます。どうぞよろしくお願申し上げます。



中・高(茨木) 副校長
藤原 秀彦

今年度4月より追手門学院中・高等学校の副校長を拝命いたしました、藤原秀彦と申します。長く大阪府立高校で勤務してきましたが、この度新たなチャレンジを決意した次第です。「双方向性に富んだ授業」「生徒が考える授業」(先生が考えさせる授業)をテーマにずっと取り組んできました。これまでの教育改革特に授業改革に取り組んできた経験を、何とかこの新しい職場で生かし、少しでも住谷校長の補佐ができるよう取り組んで生きたいと考えています。卒業生の皆様、どうかよろしくお願いたします。

